

# IZUMI TATENNO

## 公演迫る!

奇跡のピアニスト — 舘野泉 卒寿記念コンサート

# 人生は 音楽の中に

取材・文：阿部 素軌

©今井卓



©今井卓

数え90歳の卒寿を迎えた今も「左手のピアニスト」として活躍する舘野泉さんが11月2日、「卒寿記念コンサート『彼の音楽を彼が弾く』」でサントリーホールステージに立つ。右手の自由を失った脳出血から23年以上。「左手の音楽」をピアノの新ジャンルとして確立させた自負を胸に、「僕の人生は音楽の中にある」と柔和な笑みを見せる。記念コンサートでは、「左手」のために創られた楽曲の数々から、えりすぐりの作品を演奏。「珠玉の楽譜に僕の軌跡と蓄積を乗せて、聴いてくださる皆さまにお届けしたい」と衰えぬ意欲を語る。

「音楽をやって生きていけるというのは、人生最大の贈りもの」。現在、築90年に及ぶ都内の生家で暮らす舘野さんは、チェロ奏者だった父親の言葉を今もよくかみ締める。戦争中、疎開していた頃を除き、「ピアノはいつもそばにあった」。1960年、東京藝術大学音楽学部を卒業後、ピアニストとしてデビューし、今年は演奏生活65周年だ。2002年、脳出血で倒れた後も、「ピアノから離れるという発想は全くなかった」とよどみない。04年の復帰時、左手のみを使うピアノ曲は世界でも数えるほどしかなく、間宮芳生ら信頼できる作曲家に創作を依頼。初めは作曲する側に戸惑いもあったというが、

彼の音楽を彼が弾く

## 舘野 泉 ピアノ・リサイタル

演奏生活65周年 卒寿記念コンサート

2025年11月2日(日) 14:00開演 (13:15開場)  
サントリーホール

S席 ¥~~10,000~~0 A席 ¥5,000 (残席僅少) B席 ¥4,000 (残席僅少)

### 《プログラム》

マグヌッソン: 組曲「アイスランドの風景」◆

ノルドグレン: 小泉八雲の『怪談』によるバラードⅡ◆

振袖火事・衝立の女・忠五郎の話

ティエンスー: 復活◆

エスカンデ: 奔放なカプリッチョ〜ピアノと管楽器のための◆

### ◆舘野泉 ピアノソロ

◇共演 平石章人(指揮) 甲斐雅之(フルート) 辻本憲一(トランペット)

伊藤駿(トランペット) 新田幹男(トロンボーン)

ザッカーリー・ガイルス(トロンボーン) 野々下興一(バストロンボーン)

齋藤充(ユーフォニアム)

主催: ジャパン・アーツ 後援: フィンランド大使館 協力: 舘野泉ファンクラブ

ジャパン・アーツぴあコールセンター 0570-00-1212 [www.japanarts.jp](http://www.japanarts.jp)

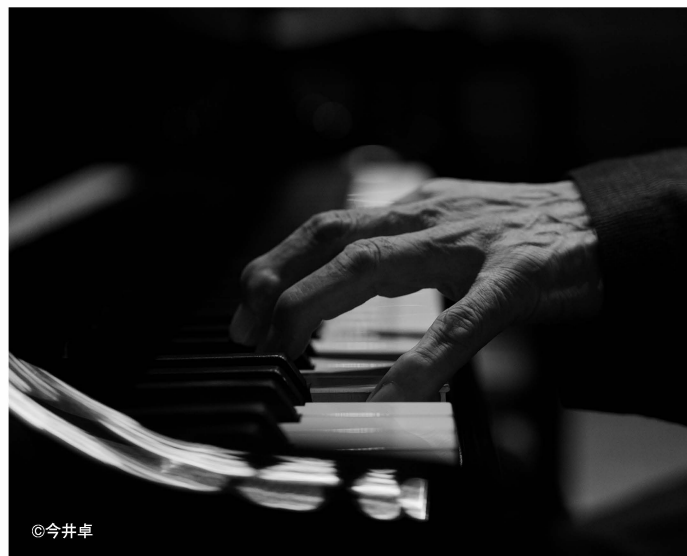
公演詳細は  
こちら



猛練習の末、ピアノの全音域にわたる曲を弾きこなす姿は、「さらなる難曲を引き出してしまった」と笑みを見せる。演奏中、左手・左腕は時に速く、時に大きく右・左に…。同時に足で三つのペダルを操る動きは「神業」とも評される。「右半身不随のはずなのに右足は動く。これは奇跡です」

楽曲に込められた作曲家の思いをくみ取りながら、「僕自身の人生を加えていく感覚」。そう話す舘野さんが復帰2年後に開設した「舘野泉左手の文庫(募金)」には、これまで世界10カ国の作曲家から140近い作品が寄せられている。これらは舘野さんの“マジックハンド”にかかることで、「両手の表現力には及ばない」との“常識”を覆すことに。

「卒寿記念コンサート」で弾く作品も、「西欧の粹」を超えた独創性に満ちている。このうち、フィンランドの作曲家ノルドグレンの「小泉八雲の『怪談』によるバラードII」を、舘野さんは「人間の心に潜む不思議な情感がこもっている傑作」と言い表す。長くフィンランドに暮らし、その文化と自然、人々を愛する舘野さんにとって、08年に死去したノルドグレンは盟友の一人。『「平家物語」を弾き語る琵琶法師のように、僕は彼の『語り部』であり続けたい」と言葉を継ぐ。



極北の地の人々の充足感もにじむマグヌッソン「組曲『アイスランドの風景』」、舘野さん自身が「とにかく衝撃的」となるティエンスー「復活」…。そしてフィナーレは、金管楽器の名手6人と協演するエスカンデ「奔放なカプリッチョ〜ピアノと管楽器のための」だ。「華やかで、聴いている誰もが幸せな気分になれる曲。僕自身も『この素晴らしい時間が終わらないでほしい』と思ってしまう(笑)」

記念コンサートの8日後、満89歳となるだけに、「さすがに体は痛いところだらけ」と苦笑する。「ピアノを弾いているときの方がむしろ楽。痛みも疲れも忘れてしまう」。笑顔を保ち、こう続けた。「来年の新作(の作曲)もお願いしようと考えている。僕にとって弾くことは命の証しです」。力みや虚栄とは無縁の境地がそこにある。「言語化できない」と言う音楽の感動が“奇跡の左手”から紡ぎ出される一。



## 舘野泉バースデープロジェクト 演奏生活65周年 みんなで祝おう! 卒寿記念コンサート

「左手のピアニスト」として知られるクラシック界のレジェンド舘野泉が、卒寿を迎えます。演奏生活65年を通じて今日に至るまで、多くの人々に深い感動と生きる喜びを届けています。舘野泉が到達した崇高で深遠な世界を味わうとともに卒寿と一緒に祝いませんか? 会場となるサントリーホールロビーを華やかなスタンド花で彩り、楽屋にも花束と皆様のご芳名入りメッセージカードを届けます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



詳細はQRコードから  
ご確認ください。